

平成30年3月期 決算概要

～お客様への本業支援の実践で、地域経済の活性化を目指して～



株式会社 東和銀行

平成30年3月期 決算概要

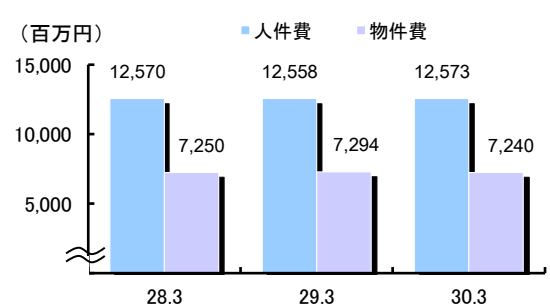
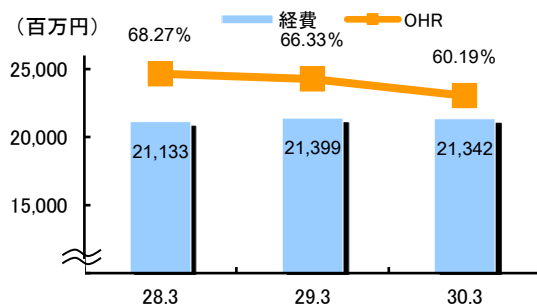
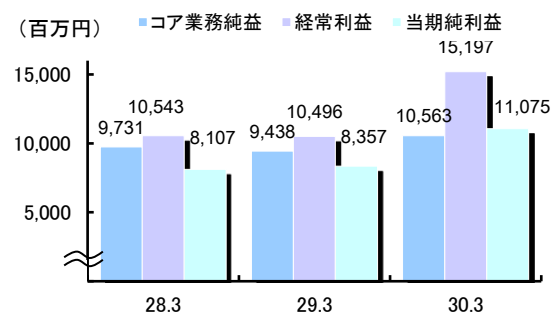
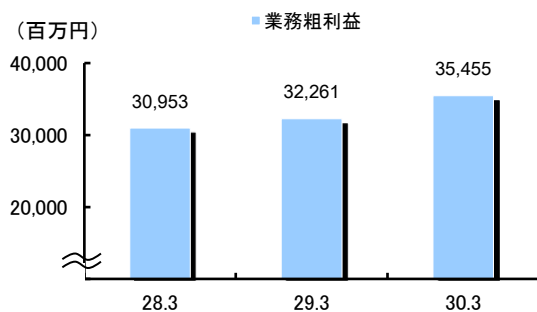
1. 損益の状況

平成30年3月期における損益状況は、本業の収益力を示すコア業務純益が105億63百万円、経常利益は151億97百万円、当期純利益は110億75百万円となりました。

《 単体 》

(単位:百万円、%)

	28年3月期	29年3月期	30年3月期	前年同期比
業務粗利益	30,953	32,261	35,455	+ 3,193
資金利益	29,076	28,145	26,816	▲ 1,328
役務取引等利益	1,700	1,696	1,817	+ 120
その他業務利益	176	2,420	6,820	+ 4,400
うち国債等債券損益	87	1,423	3,548	+ 2,125
経費(除く臨時処理分)(▲)	21,133	21,399	21,342	▲ 57
OHR(業務粗利益経費率)	68.27	66.33	60.19	▲ 6.14
うち人件費(▲)	12,570	12,558	12,573	+ 15
うち物件費(▲)	7,250	7,294	7,240	▲ 54
コア業務純益	9,731	9,438	10,563	+ 1,125
一般貸倒引当金繰入額(▲)	0	0	▲ 318	▲ 318
業務純益	9,819	10,862	14,112	+ 3,250
臨時損益	723	▲ 365	766	+ 1,132
うち不良債権処理額(▲)	999	1,868	3,415	+ 1,546
うち償却債権取立益	311	687	470	▲ 216
うち株式等関係損益	777	369	3,331	+ 2,961
経常利益	10,543	10,496	15,197	+ 4,700
特別損益	▲ 194	▲ 6	▲ 37	▲ 31
法人税等合計(▲)	2,241	2,132	4,083	+ 1,951
当期純利益	8,107	8,357	11,075	+ 2,717



2. 主要勘定の状況

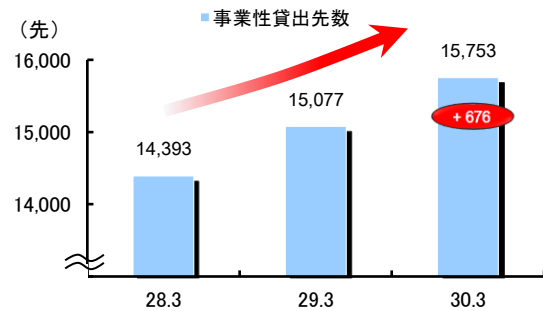
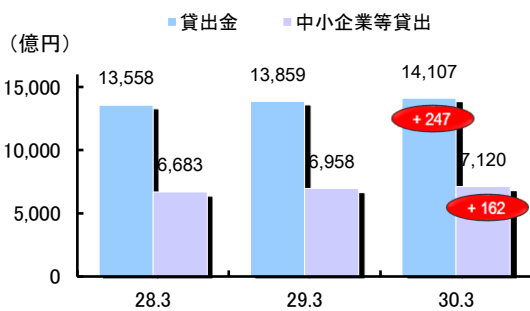
(1) 貸出金

貸出金は、地域中小企業等への円滑な資金供給に努めた結果、期末残高は前年同期比247億円増加の1兆4,107億円となりました。
 中小企業貸出は、地域中小企業等への円滑な資金供給に努めた結果、期末残高は前年同期比162億円増加の7,120億円となりました。
 また、事業性貸出先数は、前年同期比676先増加の15,753先となりました。

《単体》

(単位: 億円、先)

	28年 3月末	29年 3月末	30年	
			3月末	前年同期比
貸出金(末残)	13,558	13,859	14,107	+ 247
うち中小企業等貸出	6,683	6,958	7,120	+ 162
事業性貸出先数	14,393	15,077	15,753	+ 676



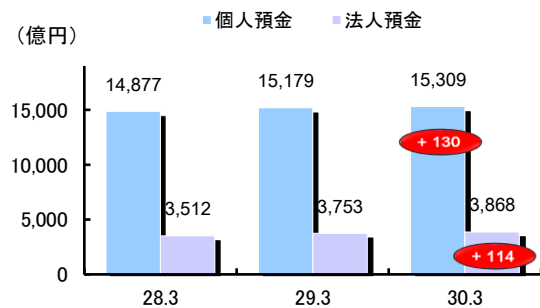
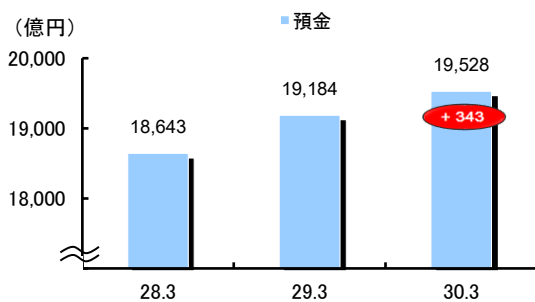
(2) 預金

預金は、個人・法人ともに順調に増加し、期末残高は前年同期比343億円増加の1兆9,528億円となりました。

《単体》

(単位: 億円)

	28年 3月末	29年 3月末	30年	
			3月末	前年同期比
預金(末残)	18,643	19,184	19,528	+ 343
うち個人	14,877	15,179	15,309	+ 130
うち法人	3,512	3,753	3,868	+ 114



(3) 預り資産

投資信託の販売額は381億円、純資産残高は前年同期比76億円減少の746億円となりました。
年金保険等の販売額は59億円、残高は844億円となり、また、国債等公共債の販売額は2億円、残高は49億円となりました。

《単体》

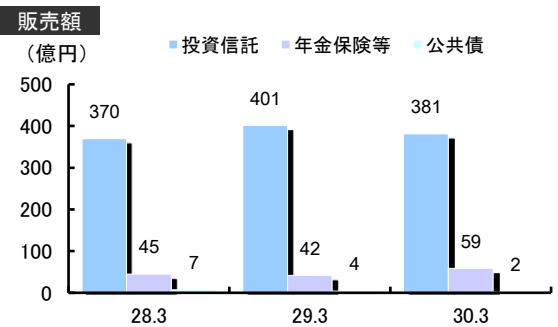
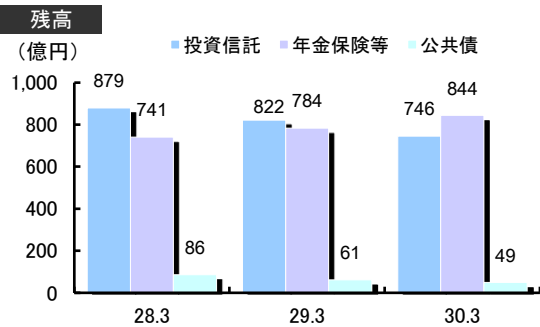
(単位:億円)

		28年 3月末	29年 3月末	30年 3月末	前年同期比
残高	投資信託	879	822	746	▲ 76
	年金保険等	741	784	844	+ 59
	公共債	86	61	49	▲ 11

《単体》

(単位:億円)

		28.3月期	29.3月期	30.3月期	前年同期比
販売額	投資信託	370	401	381	▲ 20
	年金保険等	45	42	59	+ 17
	公共債	7	4	2	▲ 1



(4) 有価証券

有価証券は、継続的な運用見直しを行った結果、残高は前年同期比50億円減少の5,899億円、利回りは前年同期比0.09ポイント低下の1.15%、また、利息配当金は前年同期比4億円減少の67億円となりました。

《単体》

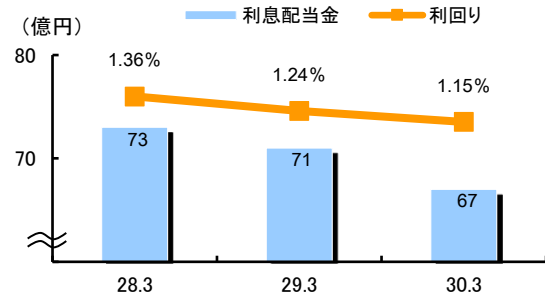
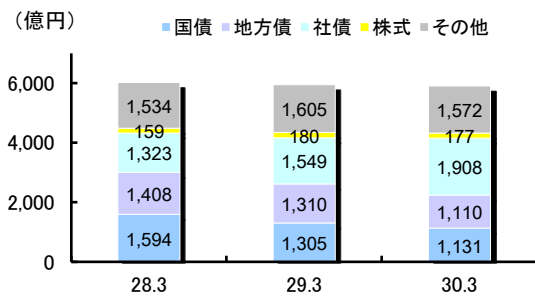
(単位:億円)

	28年 3月末	29年 3月末	30年 3月末	前年同期比
有価証券残高	6,020	5,950	5,899	▲ 50
国債	1,594	1,305	1,131	▲ 174
地方債	1,408	1,310	1,110	▲ 199
社債	1,323	1,549	1,908	+ 358
株式	159	180	177	▲ 2
その他	1,534	1,605	1,572	▲ 32

《単体》

(単位:億円、%)

	28.3月期	29.3月期	30.3月期	前年同期比
有価証券利息配当金	73	71	67	▲ 4
有価証券利回り	1.36	1.24	1.15	▲ 0.09



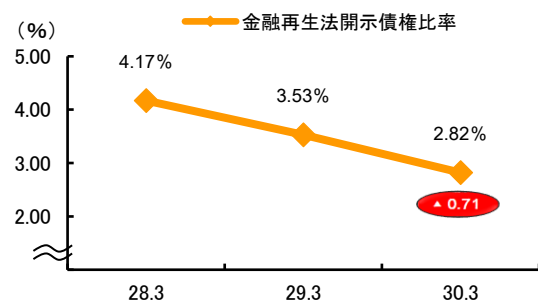
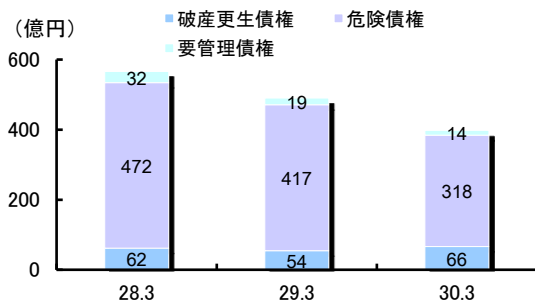
3. 不良債権の状況

金融再生法開示債権比率は、地域金融機関として円滑な資金供給や経営改善支援等に積極的に取り組んだことにより、前年同期比0.71ポイント低下し、2.82%となりました。

《単体》

(単位: 億円、%)

	28年 3月末	29年 3月末	30年 3月末	前年同期比
破産更生債権	62	54	66	+ 12
危険債権	472	417	318	▲ 99
要管理債権	32	19	14	▲ 4
小計(A)	568	491	399	▲ 91
正常債権	13,036	13,427	13,762	+ 335
合計(B)	13,604	13,919	14,162	+ 243
金融再生法開示債権比率(A/B)	4.17	3.53	2.82	▲ 0.71



4. 自己資本比率

自己資本比率は、11.58%（バーゼルⅢ国内基準）となりました。

《単体》

(単位: %)

	28年 3月末	29年 3月末	29年 3月末	前年同期比
自己資本比率	10.92	10.92	11.58	+ 0.66

